

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和05年01月27日

計画の名称	山口県における「産業力・観光力」の強化に資するみなとづくり													
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	山口県													
計画の目標	国内物流ターミナルの整備により、国内物流貨物の集約による物流コスト削減を図り、山口県の産業力の強化を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		600	A	600	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R7	R9
1	宇部港において、国内物流ターミナルとしての泊地の整備率を61%（R5）から95%（R9）へ増加させる。 宇部港における泊地の整備割合により算出する。 （施設整備率）％＝（浚渫完了土量）／（浚渫計画土量）×100	61%	84%	95%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-001	港湾	一般	山口県	直接	山口県	重要	建設	泊地（-5.5m）の整備（1-A1 -1）	土量 V=393千m3	宇部港東見初地区	■	■	■	■	■	600		－	
												小計						600		
												合計						600		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	152				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	152				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	80				
翌年度繰越額 (f)	72				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 山口県における「産業力・観光力」の強化に資するみなとづくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 港湾計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ④事業の効果	
III. 計画の実現可能性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 ⑤円滑な事業執行の環境	
I. 目標の妥当性 1) 整備施設で利用者や地元漁協の理解がある。	○
I. 目標の妥当性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

[illegible]